

# 県立幕張総合高等学校

## 目 標

- ・ 生徒の留学等への興味関心を高める。
- ・ グローバル社会における国際理解の必要性の理解を促進する。
- ・ 国際理解教育を推進するための校内・校外体制を構築する。

## 留学生等との交流会の開催

- (1) 日 時：平成30年6月22日（金）12時から16時
- (2) 会 場：本校会議室
- (3) 留学生等：神田外語大学の留学生71名
- (4) 参加者：第1学年～第3学年希望生徒45名、教員10名、計 55名
- (5) 内 容：

全体会で留学生の紹介と日程の説明をした後、留学生が出身国と日本の違いなどについてプレゼンテーションしたり、語学教室を実施したりした。その後、グループ別にキャンパスツアーとして留学生に学校を紹介した。また、グループ別に交流会を行い、相互に生活や文化、将来の夢などを語り合い交流を深めた。



- (6) 事前学習：

国際交流委員会を中心に、各国の下調べや質問の準備などの事前学習を行った。

- (7) 事後指導：アンケートを実施

・ 意義のある交流会だったか	71%	29%	0%
・ また参加したいか	67%	33%	0%
・ 留学生の出身国への理解が深まったか	80%	20%	0%
・ 日本以外の国への興味を持ったか	82%	18%	0%

□とてもそう思う      □そう思う  
□あまり思わない      ■思わない

## 海外理解促進のための講演会

- (1) 日 時：平成30年11月12日（月） 14時から16時
- (2) 会 場：普通科 本校文化ホール 看護科 看護科教室
- (3) 講 師：普通科 氏名 五十嵐 さやか 氏  
所属 元青年海外協力隊員  
経歴 海外青年協力隊員（村落開発普及員）としてキルギス共和国に赴任
- 看護科 氏名 小倉 知子 氏  
所属 元青年海外協力隊員  
経歴 海外青年協力隊員（看護師）としてウズベキスタンに赴任

(4) 参加者：第1学年生徒757名、教員35名、保護者3名、計 795名

(5) 内容：

元青年海外協力隊員の経験に基づいて多くの写真とともに講演していただいた。派遣の経緯や苦労したこと、成果と喜びなどのほか、現地での生活や日本の文化との違いなどを理解しやすい構成で講演していただいた。開発途上国の実情を学び、実際に現地で活動してきた経験に触れ、国際理解・国際貢献に対する関心を深める内容であった。

(6) 事前学習：国際交流委員会を中心に、東ユーラシア各国を紹介するパネル展示を作成した。

(7) 事後指導：アンケートを実施

(8) 参加者の感想等：

- ・実際に現地に行った方だからこそわかる大変さや嬉しさなどを聞くことができ、国際理解について柔軟に考えることができた。
- ・海外に日本の良さを広めたり、その国の特産品を広めたりしていくことで、国同士の関係を深められるし、小さいことでも、小さい国際関係を増やすことで大きなことにつながる可能性を感じた。
- ・国としての支援は大事だけど、人と人が向かい合って発展に向かうことの方が大事だと思った。
- ・普段では知ることのできないキルギスの文化や生活を知ることができてよかった。



## 事業の成果

- ・ 本事業を通し、海外の自然環境や社会・文化・生活に関する興味・関心を高めることができた。また、国際社会の一員としての自覚を育み、主体的に国際理解を深め、国際貢献に参画しようとする意欲を促進することができた。
- ・ 校内において国際理解教育を推進するための体制を強化することができた。また、地域においては、事業を通して近隣大学との連携をより深めることができた。

## 今後考えられる新たな取組

- ・ 教育旅行で本校を訪れる海外学校との交流会の実施
- ・ インターナショナルスクールとの交流
- ・ 外部国際交流団体の連携